

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

目的のためにお金を貯めて使う

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 508 号の目次>

■ 今週のテーマ

目的のためにお金を貯めて使う

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、
今週のテーマからはじめます。

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:**

■ 今週のテーマ

目的のためにお金を貯めて使う

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*~*~*

今回は、自分の決めた目的達成のために
長期間にわたりお金を貯め、
そのお金を使うことを考えていきます。

考えていくことで、
先回の記事（第 508 号「老後はどこに誰と住む
～お金のことは抜きに考えてみる～」）
の最後にお話いたしました、

「軸になる」その理由も、
よりご理解いただけることでしょう。

目的のためにお金を貯めることは簡単！？

目的があって、
お金を貯めて、そのお金を使う経験は、

たとえば、短期的には、
旅行費用や住宅購入の頭金を貯める。

それより少し長くて
10数年貯めるのであれば、
子どもの大学進学資金を貯める、
または、起業資金を貯める。
といったことです。

生活をしていくうえで、
一定水準の収入が確保できている、

現役の時代であれば、
結構、簡単にお金を貯めることは、
できることでしょう。

ただし、現役の時代であっても、
貯めていく金額によっては、
今までの家計支出の別の部分を
締めていくことになるかもしれません。

何十年も先のことは不確か

また、老後の資金を貯めていく目的は、

現在の収入と老後の年金収入では差があり、
老後も今の生活を維持するために、
貯蓄が必要。
ということは、理解できることです。

しかし、将来何が起こるかわからないし、
そもそも、いくら貯めていくのか、
貯める目標額が漠然としている。

といったような理由で、
老後の生活費を貯めること自体を、
今一つ悩んでいる方がいることも
事実です。

仮定した貯蓄の目標額を決める

老後の生活のために貯蓄する目的は、

老後の生活でも、
現在の生活を維持していくために、

現在の収入と将来の年金収入の差額を、
確保するためです。

また、この貯蓄は、
自分の思い描いた生活を送るために、
今から貯めて、
準備しておくお金でもあります。

たとえば、
前回（第 507 号「老後はどこに誰と住む」）
で、お話したような、老後の住宅資金です。

このように、今後必要となるお金の
項目とそのおおよその金額を書き出して、
算出できた金額を、
貯蓄の目標額とすればいいのです。

なお、このようなお金を貯めることなく、
漠然と老後の生活を迎えても、
老後の生活で必要となるお金です。

お金を貯めていく 2 つの方法

お金を長期的に貯めていくには、
主に、2 つの方法があります。

ともに、毎月決まった金額を

積立てることは基本です。

1つ目は、
預けたお金（元本：がんぽん）が、
必ず減らないよう貯める方法です。

銀行の定期預金や個人向け国債といった、
金融商品で貯めていきます。

ご存じのように、
これらの金融商品では、
利子や利息はほとんど付きません。

従って、
預けた金額のみで確実に積み上げていきます。

2つ目は、
元本の保証されていない、
金融商品などに運用して、
収益を貯めていく方法です。

たとえば、
株式投資や投資信託、債券、保険商品の一部、
といった金融商品を運用することです。

また、不動産や金やプラチナといった現物に
投資したりするのも、この方法のひとつです。

この方法では、元本が保証されていない分、
収入がある一方で、損出も出るといった、
リスクがあります。

海外の株式や投資信託や債券に投資すれば、
為替や地政学的なリスクも加わります。

はじめて元本保証にない金融商品で、
貯蓄の目的に投資運用をするなら、

現在は、税制優遇が施行されている

- ・ NISA（少額投資非課税制度）
- ・ iDeCo（個人型確定拠出年金）利用すれば、

あまり値動きが激しく変動しないであろう、

金融商品の銘柄から、
運用する金融商品を選ぶことができるでしょう。
また、節税の効果も期待できます。

ただし、くどい様ですが、
原則、運用する金融商品の元本は、
保証されていません。

最悪の場合、
元本が無くなることも考えられるのです。

なお、詳しい商品の内容は、

NISA（少額投資非課税制度）

金融庁 HP 「NISA とは」

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/index.html>

iDeCo（個人型確定拠出年金）

iDeCo(イデコ)の特徴（iDeCo 公式サイト）

<https://www.ideco-koushiki.jp/guide/>

をご覧ください。

ここが「軸」

このように考えてくると、
老後の生活をするにあたり、
生活費以外にも、

戸建ての持ち家に住んでいれば、
屋根の雨漏りといった修繕費用や、

思い立ったときに旅行にいったり、
趣味の美術品が買いたくなったり、
といったお金が必要になるでしょう。

ただ、そのたびごとに必要にお金を、
何とかねん出しているのは、

その後の生活が、成り立たなくなる、
可能性もあります。

それよりも、
ご自身が思い通りの生活を描き、
そのために必要なお金を計算して、
あらかじめ貯めて使った方が、

たとえそのお金が、
目標の額に達しなくても、
余裕のある生活ができることは確かです。

また、その時の状況により、

旅行のために貯めておいたお金を、
医療や介護の費用に使うことも
可能になるのです。

つまり、ご自身の「軸」を作っておけば、
老後の生活で、
予期せぬ変化に対応できるのです。

そのために、
ご自身の思い描いた生活を描き、
予算組みをして貯蓄をしていく。

この一連の流れのことを、
「軸」を作るといいます。

これで、
先回（第 507 号）でお話ししました、

「どこに住むかも、誰と住むかも、
将来、その時のご自身や夫婦。
時には、独立したはずの子ども、
それに親族といった、
まわりの状況によって、
変えることもあるでしょう。

ただ、ご自身が、
どのようにどこに誰と住みたいのか、
思い描いていることを書いていけば、
それが軸となり、
その時々の変化を、
受け入れることは容易になることでしょう。」

と記述した、この記事の内容も、
ご理解いただけると幸いです。

■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

老後の生活の準備をする手始めは、

今から、

自分の思っている生活を

描いてみることです！

■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

創業 19 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 1100 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
首都圏や関西にも
リモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

■編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

何をしたいのか、

まったくプランがないと、

お金は、

「私は、必要ないんだ」

と、思うかもしれませんね！？

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

今回は、

8月17日発行予定です。

よろしくお願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
